



国内肥料資源の利用拡大に向けた
マッチングフォーラム in 九州

発行者
株式会社リベルタス・コンサルティング

発行所
〒102-0085
東京都千代田区六番町2番地14
東越六番町ビル

電話番号
03-3511-2161

URL
<https://www.libertas.co.jp/>



国内肥料資源の利用拡大に向けた マッチングフォーラム in 九州

ガイドブック

会期 2023年9月20日(水) 12:00-17:00

会場 グランメッセ熊本 展示ホール D
(熊本県上益城郡益城町福富1010)

主催 国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム事務局
(株式会社リベルタス・コンサルティング)

国内肥料資源の利用拡大に向けた マッチングフォーラム

in 九州



目次

はじめに.....	1
出展者一覧.....	2
会場マップ.....	4
タイムテーブル.....	6
基調講演/取組事例紹介.....	6
ポスター出展者.....	7
相談窓口.....	31
参考資料.....	33

はじめに

我が国の農林水産業は、今まさにターニングポイントを迎えています。気候変動等による世界的な食料生産の不安定化やロシアのウクライナ侵略など、食料の安定供給リスクが高まっており、食料の安全保障の強化が国家の緊急かつ最重要課題となっています。

こうした中、農業生産に不可欠な生産資材である肥料については、化学肥料原料の海外依存度が高く、持続可能な農業生産の実現のためには、化学肥料の使用低減と併せて、国内にある資源の肥料利用の拡大を進めていく必要があります。

このため、農林水産省補助事業を活用し、下水汚泥資源や畜産堆肥などの肥料原料を供給する事業者や肥料メーカー、肥料販売事業者、それら肥料を活用する耕種農家等の幅広い関係者が一堂に会し、関係事業者同士の情報交換や連携づくりの場となる「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin九州」を開催いたします。

このような国内肥料資源の肥料利用にかかる関係者が一堂に会するイベントは、過去に例を見ず、本年6月に東京都大田区で開催した同イベントでは、予定のブース出展数を超える参加があり、更には当日、一般来場者も想定を超え、基調講演や事例発表では臨時席を設置したり、立見の方々がおられたりと、国内肥料資源にかかる関心の高さが伺えました。

この度のマッチングフォーラムin九州では、より活発なマッチング等が可能となるようin東京時よりも規模を大きくし、会場を準備しております。このイベントが契機となって、各地域の状況に応じた肥料の国産化に向けた多様な取組が進むことを期待いたします。



出展者一覧



肥料製造事業者

ブースNo. 18	広島堆肥プラント株式会社	官庁から下水汚泥、し尿汚泥、食品工場から動植物性残さど汚泥これらを原料とした堆肥の製造販売
ブースNo. 19	丸栄株式会社	牡蠣殻を再利用して肥料・飼料製造 また、ホタテ貝を再利用し牡蠣養殖資材の製造
ブースNo. 20	株式会社ビッグバイオ	自然界の微生物、天然素材の力を最大限に活用した地球環境に負荷を与えない技術開発
ブースNo. 21	株式会社インターファーム	肥料・農業資材の製造・販売（海外9箇所に自社肥料工場を有す）、および生鮮野菜や種子の輸出・輸入等
ブースNo. 22	南国興産株式会社	南九州から発生する農畜産副産物を利用し、飼肥料の製造を行う有機質肥料の専門メーカー
ブースNo. 23	清和肥料工業株式会社 九州支店	独自の原料調達ルートを開拓し、製販一体となった体制で、複合肥料を主体にあらゆる資材をご提供
ブースNo. 24	朝日アグリア株式会社	畜ふん堆肥を主体に、国内肥料資源を積極活用し、各地域のニーズや作物に応じた粒状複合肥料を製造・販売
ブースNo. 26	片倉コープアグリ株式会社	配合肥料・化成肥料・液体肥料・ペースト肥料・育苗培土など肥料の製造販売
ブースNo. 27	エムシー・ファーターコム株式会社	肥料全般（化成肥料・被覆肥料・有機質肥料・微量要素肥料・液肥等）の製造
ブースNo. 28	菱東肥料株式会社	化成肥料（有機・無機）、過リン酸石灰、複合肥料、ペレット及び水稲と園芸の育苗培土を製造、販売
ブースNo. 29	株式会社アサギリ	動植物性残渣・食品汚泥・下水汚泥・地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造、販売
ブースNo. 30	株式会社井上政商店	高品質な下水汚泥コンポストを製造
ブースNo. 31	イノチオプラントケア株式会社	農業・肥料・土壌改良材など農業資材全般の販売 特に有機質肥料の製造開発する川合肥料ブランドを展開
ブースNo. 32	株式会社Jバイオフードリサイクル	JFEエンジとJR東日本の両グループ出資により、食品リサイクル&バイオガス発電事業
ブースNo. 33	株式会社東北バイオフードリサイクル	JFEグループ、JR東日本グループ、東京ガスの出資による食品リサイクル&バイオガス発電事業

肥料販売事業者

ブースNo. 47	NPO法人九州バイオマスフォーラム	木質バイオマスボイラーや、木質バイオマス発電所から発生する木灰を、特殊肥料として販売・バイオマス利活用の調査・コンサルティング
ブースNo. 48	富士見工業株式会社	全国各地の畜産業者様に広域流通に応じた堆肥の品質・管理の助言を行い、堆肥を全国各地に販売
ブースNo. 49	渡辺パイプ株式会社	施設園芸農業施設的设计・施工、農業資材全般の販売、生産資材（フィルム・肥料など）の製造販売

農業機械等メーカー

ブースNo. 34	株式会社福岡九州クボタ	福岡・佐賀・長崎の3県にわたり農業機械の販売・サービス・資材の販売、農業全般に関わる事業
ブースNo. 35	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社	各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー
ブースNo. 36	株式会社デリカ	堆肥散布機の専門メーカー、機械製造及び販売
ブースNo. 37	前澤工業株式会社	上下水道プラント・装置、およびメンテナンス 堆肥化設備販売・据付
ブースNo. 38	株式会社天神製作所	有機性廃棄物資源の堆肥化発酵攪拌機のメーカー 袋詰め装置、ペレットマシンのメーカー
ブースNo. 39	株式会社チュウチク	養牛向け機械全般（飼料混合機から糞尿処理機等）の製造・販売 飼料および飼料添加物の製造・販売
ブースNo. 40	株式会社垣内	畜糞、汚泥堆肥向け造粒機「粒造くんシリーズ」を製造 設計、製造から据付まで対応する産業機械メーカー

ブースNo. 41	アイケイ商事株式会社	建設・牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎の建設 機械・畜産ふん尿の固液分離機の製作、堆肥攪拌機の販売
ブースNo. 42	三友機器株式会社	急速発酵堆肥化装置「コンボ富士」を全国各地に納入
ブースNo. 43	三洋貿易株式会社	ペレットマシンの販売・メンテナンス、ペレット造粒設備の設計・据え付け
ブースNo. 45	中部エコテック株式会社	有機汚泥・畜糞・食品残渣から有機質肥料を生産する コンポストと呼ばれる機械のメーカー
ブースNo. 46	緑産株式会社	酪農・畜産業、リサイクル業（廃棄物処理業）、林業・木質バイオマス関連事業者向けの大型農業、環境機械の販売とアフターサービス

その他

ブースNo. 01	(公社)日本下水道協会	下水道事業を主体的に実施する地方公共団体の事業支援、「下水道事業を支える民間企業の事業支援」、「官民連携の推進」等に関する事業を実施
ブースNo. 02	(一財)畜産環境整備機構	家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発、環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化
ブースNo. 06	株式会社フジタ	バイオ炭から製造したプライカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売
ブースNo. 07	月島アクアソリューション株式会社	浄水設備や下水処理設備の建設、維持管理含め官民連携事業等を実施 下水汚泥の乾燥による肥料化等も推進
ブースNo. 08	株式会社SOFIX	生物性指標による土壌分析 土壌1g中の総細菌数を数値化し、土壌の肥沃度を測定
ブースNo. 09	株式会社TOWING	土壌由来の微生物とバイオ炭を組み合わせた 高機能バイオ炭を開発・販売
ブースNo. 10	鹿児島市水道局 下水道部下水処理課	施設名称 鹿児島市下水汚泥堆肥化場、 所在地 鹿児島市谷山港三丁目2番地4、処理能力 110トン/日
ブースNo. 11	佐賀市	循環型社会の構築と処理費用の削減を目的として 下水処理場で発生する汚泥を肥料化する事業
ブースNo. 12	福岡市	博多湾の環境保全のため、下水からリンを回収し、 肥料の原料として有効活用
ブースNo. 13	神戸市経済観光局農政計画課	人口100万人以上の大都市の中では1位、 近畿圏でも市町村別で5位の農業産出額
ブースNo. 14	東京都下水道局	全国の約1割の下水を処理しており、下水汚泥資源のポテンシャルは日本一
ブースNo. 15	横浜市環境創造局	下水からリンを回収する施設の導入を進めており、 今後、回収したリンを配合した肥料の利用促進
ブースNo. 16	熊本県耕畜連携推進協議会	良質堆肥の生産を目的とした堆肥共励会（堆肥の品質会）の開催や表彰等 また、ホームページによる堆肥の製造情報の発信によるマッチング支援
ブースNo. 25	JA全農・JAグループ	農畜産物の販売や生産資材の供給といった経済事業
ブースNo. 44	シン・エナジー株式会社	バイオマス資源（木質、もみ殻、食品残渣等）を原料に、 エネルギーと肥料/土壌改良材の製造

相談窓口

ブースNo. 01	(公社)日本下水道協会	下水汚泥由来肥料の利用状況、下水道資源を活用して栽培した作物 等
ブースNo. 02	(一財)畜産環境整備機構	家畜排せつ物の堆肥化について、ご相談を受け付け
ブースNo. 03	(一社)全国肥料商連合会	国内資源由来肥料の利用拡大にかかる製品開発、流通促進、普及に対する事業推進のための相談を受付け
ブースNo. 04	(一社)日本有機資源協会	バイオ液肥、再生敷料、堆肥にかかる相談の受付け
ブースNo. 05	農林水産省消費・安全局農産安全管理課	未利用資源の肥料化や登録手続き等に関する相談を受付け
ブースNo. 17	九州農政局	九州地域における国内肥料資源の拡大に向けた関係者の支援と 施策関連情報の提供等

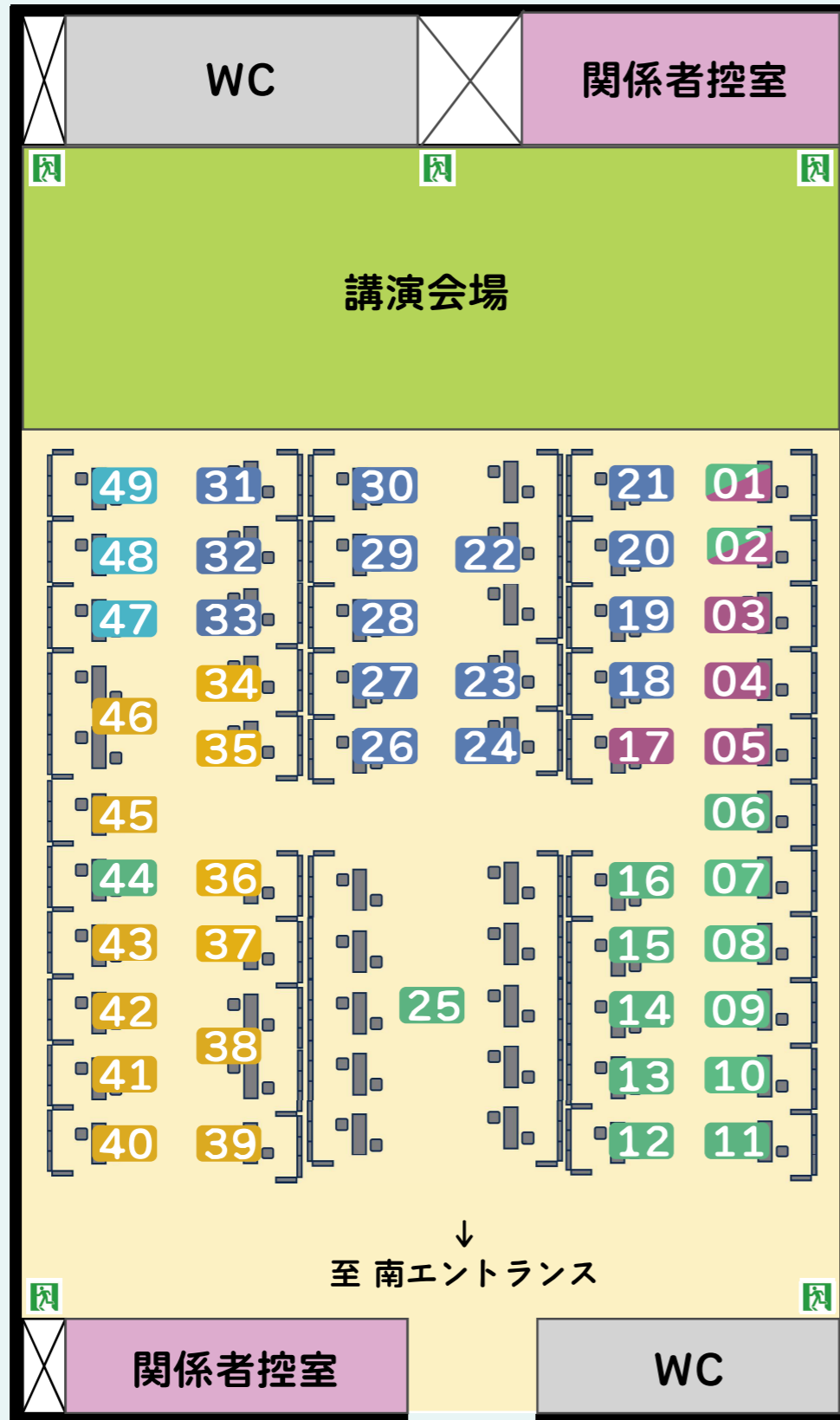


グランメッセ熊本 展示ホールD

出展者カテゴリー

- 肥料販売事業者
- 肥料製造事業者
- 農業機械等メーカー
- その他
- 相談窓口

非常口



- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 01 (公社)日本下水道協会 | 25 JA全農・JAグループ |
| 02 (一財)畜産環境整備機構 | 26 片倉コープアグリ株式会社 |
| 03 (一社)全国肥料商連合会 | 27 エムシー・ファーターコム株式会社 |
| 04 (一社)日本有機資源協会 | 28 菱東肥料株式会社 |
| 05 農林水産省消費・安全局農産安全管理課 | 29 株式会社アサギリ |
| 06 株式会社フジタ | 30 株式会社井上政商店 |
| 07 月島アクアソリューション株式会社 | 31 イノチオプラントケア株式会社 |
| 08 株式会社SOFIX | 32 株式会社Jバイオフードリサイクル |
| 09 株式会社TOWING | 33 株式会社東北バイオフードリサイクル |
| 10 鹿児島市水道局下水道部下水処理課 | 34 株式会社福岡九州クボタ |
| 11 佐賀市 | 35 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 |
| 12 福岡市 | 36 株式会社デリカ |
| 13 神戸市経済観光局農政計画課 | 37 前澤工業株式会社 |
| 14 東京都下水道局 | 38 株式会社天神製作所 |
| 15 横浜市環境創造局 | 39 株式会社チュウチク |
| 16 熊本県耕畜連携推進協議会 | 40 株式会社垣内 |
| 17 九州農政局 | 41 アイケイ商事株式会社 |
| 18 広島堆肥プラント株式会社 | 42 三友機器株式会社 |
| 19 丸栄株式会社 | 43 三洋貿易株式会社 |
| 20 株式会社ビッグバイオ | 44 シン・エナジー株式会社 |
| 21 株式会社インターファーム | 45 中部エコテック株式会社 |
| 22 南国興産株式会社 | 46 緑産株式会社 |
| 23 清和肥料工業株式会社 九州支店 | 47 NPO法人九州バイオマスフォーラム |
| 24 朝日アグリア株式会社 | 48 富士見工業株式会社 |
| | 49 渡辺パイプ株式会社 |

Timetable タイムテーブル

12:00-12:05	開会挨拶
12:05-12:55	基調講演
13:00-14:20	先進事例先による取組事例紹介
14:30-	交流コアタイム
17:00	閉会

Speech 基調講演/取組事例紹介

基調講演
「国内の肥料資源の有効活用による持続的農業の展開へ向けて
～混合堆肥複合肥料を事例に」



国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター 研究推進部
技術適用研究チーム チーム長
荒川 祐介 氏

先進事例先による取組事例紹介 ※時間は前後する可能性があります

13:00-13:20	JA菊池	畜産関係
13:20-13:40	佐賀市上下水道局	下水汚泥関係
13:40-14:00	南国興産株式会社	バイオマス関係
14:00-14:20	JA鹿児島県経済連	肥料製造事業者関係

ポスター出展者



公益社団法人日本下水道協会

基本DATA

所在地
東京都千代田区内神田2-10-12
内神田すいすいビル5~8階
日本下水道協会
<https://www.jswa.jp/>
日本下水道協会下水道GX
<https://www.jswa.jp/gx/>

主要事業の概要

日本下水道協会は、「下水道事業を主体的に実施する地方公共団体の事業支援」、「下水道事業を支える民間企業の事業支援」、「官民連携の推進」等に関する事業を実施しています。

出展担当

担当者 前田・青柳・井澤
TEL 03-6306-0369
E-mail shishin@ngsk.or.jp



強み・特長・販売等の実績

日本下水道協会は、3つの役割(シンクタンク、スポークスマン、ナレッジセンター)を踏まえ、地方公共団体及び民間企業等に対する事業支援を行い、下水道事業を促進し、さらに進化・成熟化させることにより、持続可能な社会の構築に貢献します。
また、下水道GX促進調査専門委員会(委員長:東京大学工学系研究科 加藤特任准教授)を令和4年度に設置し、地方団体向けの脱炭素検討支援方策等の検討や下水汚泥の肥料利用に向けた検討の支援を実施しています。

株式会社フジタ

基本DATA

所在地
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル
<https://www.fujita.co.jp/>

主要事業の概要

バイオ炭から製造したプライカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売する。

出展担当

担当者 服部 孝政
TEL 070-2474-1092
E-mail takamasa.hattori@fujita.co.jp



強み・特長・販売等の実績

強み・特徴
・未利用バイオマス(を炭化した炭化物)の有効活用
・下水汚泥分離液等からのリン回収
・脱炭素・資源循環及び土壌の地力回復効果を有する肥料および堆肥の製造
・「地球を冷やす作物」といったブランディング化支援
販売実績
・なし(肥料登録手続きのための肥効試験中)

一般財団法人畜産環境整備機構

基本DATA

所在地
東京都港区虎ノ門5-12-1 ワイコービル3F
<https://www.leio.or.jp/>

主要事業の概要

家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発、環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化

出展担当

担当者 羽賀 清典
TEL 03-3459-6300
E-mail haga@leio.or.jp



強み・特長・販売等の実績

家畜ふんの堆肥化施設設計マニュアルの出版、家畜ふん堆肥を用いた混合堆肥複合肥料に関するマニュアルの出版、牛・豚・鶏の畜種別の造粒堆肥の混合利用に関するマニュアルの出版、高肥料成分ペレット堆肥の調製と安定貯蔵技術に関するマニュアルの出版

月島アクアソリューション株式会社

基本DATA

所在地
東京都中央区晴海3-5-1
<https://www.tsk-g.co.jp/tech/water-environmental/>

主要事業の概要

浄水設備や下水処理設備の建設、維持管理含め官民連携事業等を実施。下水汚泥の乾燥による肥料化等も推進。

出展担当

担当者 下水計画部 高尾 大
TEL 03-5560-6585
E-mail dai_takao@tsk-g.co.jp

脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化



強み・特長・販売等の実績

下水汚泥を低温かつ短時間で乾燥することで、低臭気な乾燥物(肥料化物)を生産できることから、直接肥料として販売できる性状が担保できることが強みである。

株式会社SOFIX

基本DATA

所在地

滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学 テクノコンプレクス241号

<https://sofixagri.com/>

主要事業の概要

生物性指標による土壌分析を行っています。
土壌1g中の総細菌数を数値化し、土壌の肥沃度を測定します。

出展担当

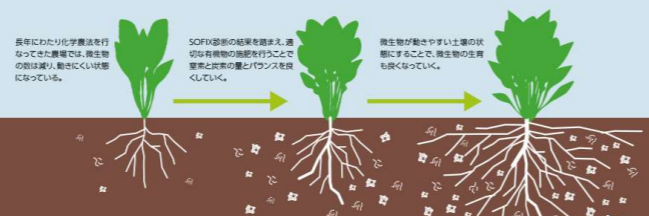
担当者 五島 昌近
TEL 077-599-4310
E-mail goshima@sofixagri.com

SOFIX分析とは -土壌の生物指標に着目した新技術-

土壌分析は古くから行われてきましたが、化学性や物理性の分析ばかりで、生物性の分析はありませんでした。私たちは、物質循環がスムーズに行われる土壌を健康な土壌と考え、物質循環の鍵となる「微生物の数」と「微生物の動き」に着目し、土壌の肥沃度を診断する生物指標を用いた新しい技術「土壌肥沃度指標(Soil Fertility Index: SOFIX)」を開発しました。

SOFIX分析の分析19項目

生物指標11項目	化学指標6項目
細菌数	全窒素
アンモニア酸化活性	全リン
硝化細菌活性	全カリウム
窒素循環活性	交換性カリウム
リン循環活性	交換性カルシウム
全炭素	pH
	EC
	有機炭素
	有機窒素
	有機リン
	有機カリウム
	有機カルシウム
	有機マグネシウム



強み・特長・販売等の実績

土壌1g中の総細菌数を測定できることが弊社技術の強みです。農地の総細菌数が2億個/g以上であれば、地中の物質循環が起こり、総細菌数が増えるほど物質循環が進むことが分かってきました。全国各地の農地及び堆肥の分析について、年間1,000件以上のご依頼を頂いています。微生物にとって最適な土壌環境を整えることで、植物にとって利用可能な養分を豊富に含む土壌づくりを是非ご提案させていただきます。

株式会社TOWING

基本DATA

所在地

愛知県名古屋市中区前浜通7-1-2 NTラボ

<https://towing.co.jp/>

主要事業の概要

土壌由来の微生物とバイオ炭を組み合わせた高機能バイオ炭を開発・販売

出展担当

担当者 阿部 浩人
TEL 080-4711-3999
E-mail h.abe@towing.co.jp



強み・特長・販売等の実績

土壌微生物の培養技術をコアに、バイオ炭に微生物を定着させた「高機能バイオ炭」で、脱炭素・減化学肥料を両立する農業エコシステム実現を目指しています。高機能バイオ炭と堆肥などの有機質肥料との組み合わせにより土づくりを最短1か月で可能となります。

鹿児島市水道局下水道部下水処理課

基本DATA

所在地

鹿児島県鹿児島市南栄二丁目13番地

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou/index.html>

主要事業の概要

施設名称 鹿児島市下水汚泥堆肥化場
所在地 鹿児島市谷山港三丁目2番地4
処理能力 110トン/日

出展担当

担当者 米倉 成人
TEL 099-268-3393
E-mail gesuisyo-kan@city.kagoshima.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

下水処理場から発生する脱水汚泥を約40日かけて好気性微生物により発酵させた肥料です。汚泥が発酵する過程で、温度が70℃~80℃に上昇することにより病原菌や雑草の種子等は死滅し、取扱いしやすい肥料になります。また、石灰を含むため酸性土壌の改良にも効果があります。販売実績は令和4年度で約10,000tです。

佐賀市

基本DATA

所在地

佐賀県佐賀市西与賀町大字高太郎2667番地

<https://www.water.saga.saga.jp/main/104.html>

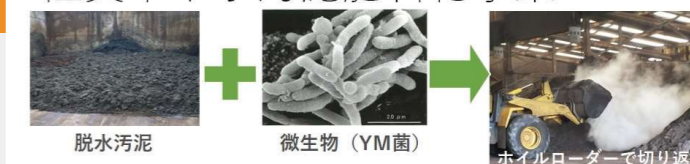
主要事業の概要

循環型社会の構築と処理費用の削減を目的として下水処理場で発生する汚泥を肥料化する事業です。

出展担当

担当者 鳥巢将史(株式会社S&K佐賀)
TEL 090-2426-9860
E-mail masafumi.tosu@kyowa-kako.co.jp

佐賀市下水汚泥肥料化事業



強み・特長・販売等の実績

本事業ではYM菌による超高温好気性発酵技術を採用しています。この技術は、外的な加温が不要のため、化石燃料の使用が少なく、微生物の力で高温発酵を繰り返すことにより、雑草種子や病原菌が死滅するため良質で完熟した肥料が生産できます。

福岡市

基本DATA

所在地
福岡県福岡市中央区天神一丁目8番1号
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/>

主要事業の概要

博多湾の環境保全のため、下水からリンを回収し、肥料の原料として有効活用しています。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者 片岡 千恵
TEL 092-711-4516
E-mail shisetsu-c.RSB@city.fukuoka.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

平成8年からリン回収に取り組み、回収したリンを再生リンとして有効活用しています。再生リンは下水から安定して回収できる国内資源です。さらに、植物の必須栄養素である窒素とリンを含んでいることから、肥料として農作物に返すことができ、下水を通じて循環することのできる環境にやさしい資源です。なお、再生リンは、令和4年度にJA全農ふくれんと製品化したエコ肥料「e・green」の原料に使用されています。

東京都下水道局

基本DATA

所在地
東京都新宿区西新宿2-8-1
<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

主要事業の概要

東京都下水道局は、全国の約1割の下水を処理しており、下水汚泥資源のポテンシャルは日本一と言えます。

出展担当

担当者 森 一輝
TEL 03-5320-6698
E-mail Ikki_Mori@member.metro.tokyo.jp



強み・特長・販売等の実績

下水道革新的技術実証事業に採択された、新しいりん回収資材を用いた下水汚泥からのりん回収物を今年度より生産を開始し、肥料登録を目指します。更に下水汚泥焼却灰についても、りんが高濃度に含まれるという特徴と、東京都が持つポテンシャルに着目し、肥料利用を目指します。

神戸市経済観光局農政計画課

基本DATA

所在地
兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12
<https://www.city.kobe.lg.jp/>

主要事業の概要

人口100万人以上の大都市の中では1位、近畿圏でも市町村別で5位の農業産出額を誇っています。

出展担当

担当者 佐藤 大輔
TEL 078-984-0369
E-mail nouseikeikakuka@office.city.kobe.lg.jp



強み・特長・販売等の実績

市内の下水処理場において、下水に含まれるリンを回収し、これを「こうべ再生リン」として肥料原料として供給しています。肥料製造事業者がこれをもとに「こうべハーベスト」肥料を製造し、市内農業者に販売しています。市としては、市民、農業者に向けて、この取り組みの意義を発信し、地域資源循環の取り組みを広げようとしています。

横浜市環境創造局

基本DATA

所在地
神奈川県横浜市中区本町6-50-10
<https://www.city.yokohama.lg.jp/>

主要事業の概要

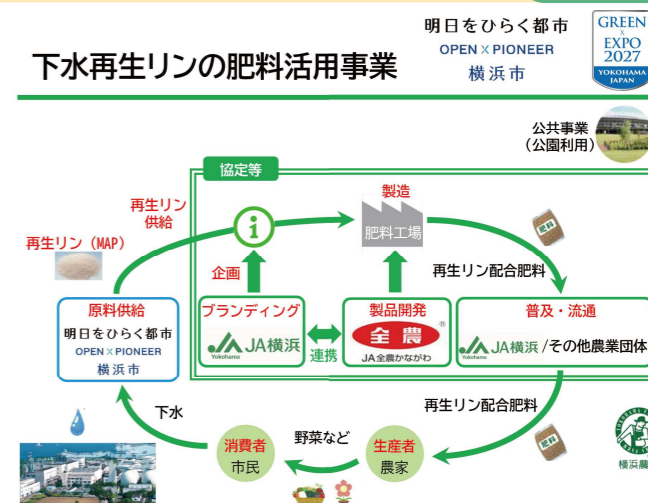
下水からリンを回収する施設の導入を進めており、今後、回収したリンを配合した肥料の利用促進を進めます。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者 沼尻 勇太
TEL 045-711-0636
E-mail ks-nogyoshinko@city.yokohama.jp



強み・特長・販売等の実績

横浜市では令和5年7月に、回収したリンを配合した肥料の開発・製造や市内を中心とした流通等の利用促進に向けた連携協定を横浜市・JA横浜・JA全農かながわの三者で締結し、国内肥料資源の利用拡大体制を構築しています。今後は、本市で開催される国際園芸博覧会であるGREEN×EXPO 2027において再生リンを原材料とした肥料の活用を積極的に図り、農業等への普及を推進していきます。

熊本県耕畜連携推進協議会

基本DATA

所在地
 熊本県熊本市中央区水前寺6-18-1(熊本県庁)
 熊本県熊本市中央区南千反畑町2-3(JA熊本中央会)
<http://kouchiku.aso.ne.jp/>

主要事業の概要

良質堆肥の生産を目的とした堆肥共励会(堆肥の品評会)の開催や表彰等を行っています。
 また、ホームページによる堆肥の製造情報の発信によるマッチング支援を行っています。

出展担当

担当者 相川 亮
 TEL 096-333-2398
 E-mail aikawa-r@pref.kumamoto.lg.jp



たい肥の達人

強み・特長・販売等の実績

今年度で27年目の開催となる堆肥共励会では、例年100点以上の出品点数を確保しており、分析結果を出品者にフィードバックするとともに熊本県内の堆肥に関する情報を多く所有しています。
 また、構成員には耕種農業に関する団体も含まれており、堆肥を使用する側からの視点を取り入れた活動が可能です。

丸栄株式会社

基本DATA

所在地
 広島県広島市中区十日市町1丁目4-31
<https://hiroshima-maruei.com>

主要事業の概要

牡蠣殻を再利用して肥料・飼料製造しています。
 また、ホタテ貝を再利用し牡蠣養殖資材の製造をしています。

調達を希望する肥料原料

かき殻肥料と相性の良い肥料原料

出展担当

担当者 立木 仁
 TEL 082-292-4111
 E-mail j.tachiki@hiroshima-maruei.com



強み・特長・販売等の実績

広島県のかき殻を原料とした「農家の課題解決になる肥料」を製造し、全国に販売しています。
 製品形状は、粉体・混合粉体・粗粒・粒状・混合粒状(1粒型)になります。
 かき殻は、有機JAS資材リスト登録資材です。
 新製品は、かき殻に転炉さいを混ぜた商品で、ケイ酸と老朽化水田には必須の鉄を補給し、かき殻は硫化水素を吸着し(広島大学実証済み)、pHを矯正する効果があります。

広島堆肥プラント株式会社

基本DATA

所在地
 広島県廿日市市浅原962-2
<http://www.htaihiplant.jp/>

主要事業の概要

官庁から下水汚泥、し尿汚泥
 食品工場から動植物性残さと汚泥
 これらを原料とした堆肥の製造販売

調達を希望する肥料原料

下水汚泥(コンポスト),食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 大橋 優子
 TEL 0829-72-2410
 E-mail info@htaihiplant.jp



強み・特長・販売等の実績

肥料の特徴

- ①3か月以上熟成発酵させた堆肥
- ②安価で経済的
- ③栄養豊富
- ④定期的に有害物含有検査の実施

株式会社ビッグバイオ

基本DATA

所在地
 熊本県宇城市小川町西海東2100
<https://big-bio.com/>

主要事業の概要

自然界の微生物、天然素材の力を最大限に活用した地球環境に負荷を与えない技術開発をおこなっている。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),
 家畜ふん堆肥(ブロイラー),
 家畜ふん堆肥(採卵鶏),食品残渣由来堆肥,
 腐葉土,藁,パーク,もみ殻など植物性堆肥

出展担当

担当者 阪本 忠幸
 TEL 0964-47-5810
 E-mail info@big-bio.com



強み・特長・販売等の実績

弊社独自で生み出した微生物の力を使い、発酵の効率化による質の高い肥料の生産を行うことができます。また微生物そのものを封入した土壌改良剤の製造を行っており、作物の生育促進、耐病性の向上の効果を発揮することができます。土壌改良剤を使用することで、使用する肥料を約40%削減することが期待できる。イチゴでのフィールド試験では、収穫量が約30%アップし、労力は削減し、収益の向上を図ることができた。

肥料製造事業者

ブース No. 21

株式会社インターファーム

基本DATA

所在地
東京都中央区銀座3-11-5 第2中山ビル4階
<http://inter-farm.com/>

主要事業の概要

肥料・農業資材の製造・販売
(海外9箇所に自社肥料工場を有す)、
および生鮮野菜や種子の輸出・輸入等

調達を希望する肥料原料

家畜ふん(採卵鶏), 家畜ふん(ブロイラー),
肉骨粉, 屑米, 食品・植物残渣等

出展担当

担当者 中井 清人
TEL 03-3549-2260
E-mail k-nakai@inter-farm.co.jp



強み・特長・販売等の実績

鶏糞を原料とするメタン発酵と肥料化で特許を取得 (NEDOの「バイオマスエネルギーの地域自立システムの事業化」のテーマとして採択)。鶏糞ならびに食品廃棄物等を高固形物濃度(20%以上)でメタン発酵し、それを原料とし高肥料成分の有機肥料(固形)を製造する技術開発を培ってきた。有機肥料の製造を主目的とし、バイオガスはそのエネルギーをして活用する。現在、その実証試験と事業化に向けて取り組み中である。

肥料製造事業者

ブース No. 23

清和肥料工業株式会社 九州支店

基本DATA

所在地
福岡県北九州市若松区響町1丁目12番地3
<http://www.shk-net.co.jp/>

主要事業の概要

独自の原料調達ルートを開拓し、製販一体となった体制で、複合肥料を主体にあらゆる資材をご提供。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(ブロイラー),
家畜ふん堆肥(採卵鶏), 牛肉骨粉,
食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 古波藏 斉
TEL 093-771-1110
E-mail h-kohagura@shk-net.co.jp

強み・特長・販売等の実績

有機化成肥料を中心とし、配合肥料、BB肥料、液体肥料などを製造販売する総合肥料メーカーです。独自の成形技術(タブレット方式)にて、有機由来原料を多く含む粒状化が可能。既に食品残渣を利用した複合肥料を上市。関東地区を始め、九州地区に於いても販売実績有。

肥料製造事業者

ブース No. 22

南国興産株式会社

基本DATA

所在地
宮崎県都城市高城町有水1941番地
<https://www.nangokunet.co.jp/>

主要事業の概要

南九州から発生する農畜産副産物を利用し、飼肥料の製造を行う有機質肥料の専門メーカーです。製品それ自体を作るエネルギー源にも副産物を利用することで、より発展した資源循環社会の構築を自社理念としています。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛), 家畜ふん堆肥(豚), 家畜ふん堆肥(ブロイラー), 家畜ふん堆肥(採卵鶏), 牛肉骨粉, 食品残渣由来堆肥, 生血液・魚アラ等

出展担当

担当者 増田 誠四郎
TEL 0986-53-1062 (肥料営業 直通)
E-mail smasuda@nangokunet.co.jp

牛肉骨粉利用による地産地消



強み・特長・販売等の実績

有機肥料の専門メーカーとして、製造する肥料の原料自体を自社生産することを大きな特徴としており、発酵たい肥12,000^t/年、有機配合肥料18,000^t/年、鶏ふん燃焼灰造粒品6000^t/年の実績があります。また発酵たい肥の散布事業を展開しています(実績1200^t/年)。資源循環の理念のもと自社肥料実証農場としてニラ・アスパラの生産も行っています。宮崎県内から発生する牛原料を利用した肉骨粉を利用した高品質の有機質肥料を提案いたします。

肥料製造事業者

ブース No. 24

朝日アグリア株式会社

基本DATA

所在地
東京都豊島区東池袋3丁目23番5号
Daiwa東池袋ビル
<https://www.asahi-agria.co.jp/>

主要事業の概要

畜ふん堆肥を主体に、国内肥料資源を積極活用し、各地域のニーズや作物に応じた粒状複合肥料を製造・販売

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛), 家畜ふん堆肥(豚),
家畜ふん堆肥(ブロイラー),
家畜ふん堆肥(採卵鶏), 牛肉骨粉,
下水汚泥(回収リン), 食品残渣由来堆肥,
鶏ふん等バイオマス燃焼灰

出展担当

担当者 木村 享
TEL 03-3987-2163
E-mail t.kimura@asahi-kg.co.jp

資源循環型農業へ



強み・特長・販売等の実績

朝日アグリアは「資源循環型社会の実現」を企業理念に掲げ、強みである粒状加工技術、未利用資源活用力、新商品開発力を活かし、堆肥を中心とした国内肥料資源の活用を進め、国内農業が抱える課題解決を目指します。当社が日本で最初に混合堆肥複合肥料を生産・販売してから今年で10周年、実績も年間1万トンを超えました。最近では、BB原料としての活用(BB肥料工場との連携)と、地域堆肥活用肥料の展開に力を入れています。

JA全農・JAグループ

基本DATA

所在地
東京都千代田区大手町1-3-1
<https://www.zennoh.or.jp/>

主要事業の概要

JA全農は農畜産物の販売や生産資材の供給といった経済事業に取り組んでいます。

出展者内訳(順不同)

JA全農広島県本部、JA全農福岡県本部、JA宮崎経済連、JA鹿児島県経済連、JA菊池、JA全農本所耕種資材部(中四国広域営農資材事業所、九州営農資材事業所)、JA全農本所畜産総合対策部ほか

出展担当

担当者 草 明生
TEL 03-6271-8215
E-mail kusa-akio@zennoh.or.jp



強み・特長・販売等の実績

国内肥料メーカーと協力し、鶏ふん・焼灰や家畜排せつ物由来の堆肥を原料とした混合堆肥複合肥料の開発・普及を進めています。また、堆肥の需要側(耕種)と供給側(畜産)のマッチング促進を目的としたサイト「耕×畜なび」を開発・公開し堆肥の利活用を推進しています。出展ブースでは全国各地のJAグループの取組紹介とサンプル展示を行なっています。



片倉コープアグリ株式会社

基本DATA

所在地
東京都千代田区九段北一丁目8番10号
住友不動産九段北ビル15階
<https://www.katakuraco-op.com/>

主要事業の概要

配合肥料・化成肥料・液体肥料・ペースト肥料・育苗培土など肥料の製造販売

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛), 家畜ふん堆肥(豚), 家畜ふん堆肥(ブロイラー), 家畜ふん堆肥(採卵鶏), 牛肉骨粉, 下水汚泥(回収リン), 食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 肥料本部 技術普及部 木村 尚史
TEL 03-5216-6613
E-mail hisashi_kimura@katakuraco-op.com



強み・特長・販売等の実績

全国に販売網や工場を有する総合肥料メーカーで国内トップクラスの販売実績をほこります。
【国内肥料資源の活用事例】
○エコぶらすシリーズ: JA菊池の牛糞堆肥を活用
○e-greenシリーズ: 福岡県内の家畜堆肥と福岡市の下水汚泥由来の再生リンを活用
○ソイルサプリエキス: 大麦発酵濃縮液を活用した液体肥料
その他豚糞、鶏糞、食品残渣堆肥を活用した肥料の製造・販売を全国で行っています。

エムシー・ファティコム株式会社

基本DATA

所在地
東京都千代田区麹町一丁目10番地
麹町広洋ビル4階
<https://www.mcferticom.jp/>

主要事業の概要

肥料全般(化成肥料・被覆肥料・有機質肥料・微量元素肥料・液肥等)の製造。

調達を希望する肥料原料

下水汚泥(コンポスト)

出展担当

担当者 中村 隆志
TEL 03-3263-8534
E-mail nakamura.takashi@mcferticom.jp



エムシー・ファティコム株式会社

強み・特長・販売等の実績

関連会社の【ときわ化研】(茨城県結城市)では、各種汚泥原料を活用した汚泥発酵肥料を製造しています。約3カ月間発酵による熱で水分を下げながら製造しており、余計なエネルギーがかかりません。発酵した汚泥肥料は散布しやすいペレット状に加工しております。また重金属も定期的に分析しており、品質管理に配慮しております。

菱東肥料株式会社

基本DATA

所在地
大分県大分市豊海3丁目3番1号
<http://www.ryoto.co.jp/>

主要事業の概要

化成肥料(有機・無機)、過リン酸石灰、複合肥料、ペレット及び水稲と園芸の育苗培土を製造、販売。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),
家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者 八坂 和也
TEL 097-534-5911
E-mail yasaka@ryoto.co.jp

環境に優しい農業を目指す九州の農家さんへ。化成肥料と堆肥が1粒になった循環型肥料



強み・特長・販売等の実績

弊社は、有機化成の製造で培った技術を基に転動造粒法にて鶏ふん堆肥を原料に混合堆肥複合肥料の粒状化(球状)に成功した。2019年に九州で初めて球状の混合堆肥複合肥料(レコアップ®)を上市し、現在に至る。粒状化により、機械施肥適正・長期間の貯蔵性に優れ、バルクブレンド肥料の原料にも使用できる肥料となる。2019年上市以降、販売数量は増加傾向で、2022年には約700トンの販売実績となる。

株式会社井上政商店

基本DATA

所在地
福岡県糸島市飯原400
<https://inouemasa.co.jp>

主要事業の概要

高品質な下水汚泥コンポストを製造。
年間生産量:8000t。
主成分NPK 4.0:5.5:0.4

調達を希望する肥料原料

下水汚泥(コンポスト)

出展担当

担当者 井上 政太郎
TEL 03-6450-4204
E-mail h.mao@inouemasa.co.jp



強み・特長・販売等の実績

汚泥のみを原料に好気発酵により熟度の高いコンポストを年中安定に生産している。また、年4回製品の肥料成分及び重金属分析を行い、品質の安定性及び安全性を確保している。なお、製品は商社を通じて全国に流通し、農業および緑化などに幅広くご利用いただいている。

株式会社アサギリ

基本DATA

所在地
静岡県富士宮市人穴230-51
<https://asagiri.info/>

主要事業の概要

動植物性残渣・食品汚泥・下水汚泥・地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造、販売。

調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(ブロイラー),
家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(コンポスト),
食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 岩田 宏樹
TEL 0544-52-0212
E-mail h-iwata@asagiri-f.co.jp



強み・特長・販売等の実績

当社では年間4万t以上の原料を受け入れ、120万袋(20kg袋)の製袋能力を有します。20kg袋として40万袋/年会社全体として2万t/年の有機質肥料を製造・販売しています。牛ふん堆肥と食品残渣などを混合した新製品「アサギリMIXペレット」は、粒状の為、機械散布可能な資材です。撒きやすさ、臭いの少なさに加え、加熱を行わない独自の製法のため、生きたままの有用微生物と不足しがちな微量栄養素を補うことのできる有機質資材です。

イノチオプラントケア株式会社

基本DATA

所在地
愛知県豊橋市若松町字若松146
<https://www.inochio-plantcare.co.jp/>

主要事業の概要

農業・肥料・土壌改良材など農業資材全般の販売。特に有機質肥料の製造開発する川合肥料ブランドを展開。

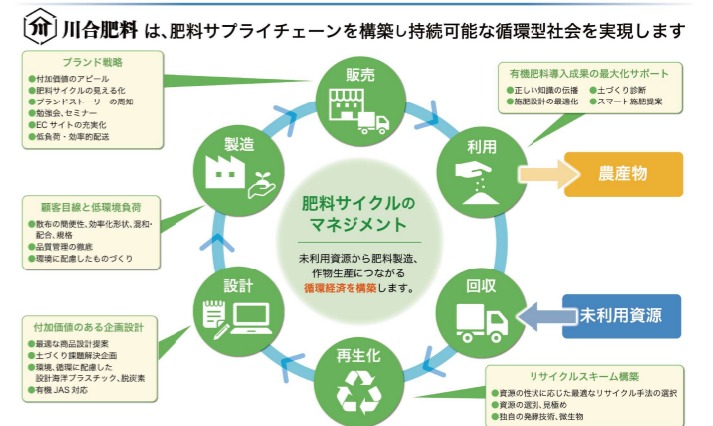
調達を希望する肥料原料

家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),
牛肉骨粉,下水汚泥(回収リン),食品残渣由来堆肥,
米ぬか、粉殻、魚粕、醸造粕、菌床、乾燥菌体、
バイオマス灰、転炉スラグ

出展担当

担当者 阿部 亮
TEL 0532-25-5611
E-mail ryo.abe@inochio-plantcare.co.jp

イノチオプラントケア株式会社



強み・特長・販売等の実績

川合肥料ブランドとして、オリジナルの有機ボカシ肥料を長年にわたり製造開発販売しています。合併を機に拠点を全国に広げており、山形、福島、静岡、愛知、大阪、和歌山、鳥取に事業所を設けており、国内の未利用資源を活用した循環型農業をサポートする体制づくりを進めております。独自の肥料開発技術とイノチオグループのネットワークによって企画、開発、製造、販売、栽培支援まで一貫通貫の対応力にお任せください。

肥料製造事業者

ブース No. 32

株式会社 J バイオフードリサイクル

基本DATA

所在地
神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地1
<https://www.j-bio.co.jp/>

主要事業の概要

JFEエンジとJR東日本の両グループ出資により、食品リサイクル&バイオガス発電事業を行っています。

調達を希望する肥料原料

食品廃棄物

出展担当

担当者 大場 裕子
TEL 045-505-7845
E-mail oba-yuko@j-bio.co.jp

食品リサイクル&バイオガス発電事業

食品廃棄物を電気と肥料に変えてSDGs達成に貢献しています!!



強み・特長・販売等の実績

メタン発酵後に出てくる発酵液（液体肥料：はまのしずく）と脱水後の固形分（固形肥料：はまのみり）が肥料になります。原料はコンビニやスーパー、食品工場や食品加工会社などから排出される食品廃棄物のため、地球環境にやさしい、資源循環型肥料です。この肥料を活用し、当社、農業事業者、および排出事業者を結び新たなリサイクルループを目指しています。2022年9月に肥料登録を行い、昨年度501t出荷をしています。

農業機械等メーカー

ブース No. 34

株式会社福岡九州クボタ

基本DATA

所在地
福岡県福岡市南区野間1丁目11-36
<http://www.fukuokakyushu-kubota.co.jp/>

主要事業の概要

福岡・佐賀・長崎の3県にわたり農業機械の販売・サービス・資材の販売、農業全般に関わる事業

出展担当

担当者 川崎 倫代
TEL 092-541-2031
E-mail tomoyo.kawasaki@kubota.com

株式会社福岡九州クボタ

強み・特長・販売等の実績

弊社は農業機械の販売やソリューション活動を通じ、農家との強いつながりがあります。弊社ではこれまで動植物性有機質のオリジナル肥料を開発・販売し作物の鮮度・食味・着色・糖度の向上を目指して取り組んできました。今回、新に酵母発酵物を利用した発酵鶏ふんペレットを開発し、今年実証圃場（水稲84ha）での使用を始めます。

肥料製造事業者

ブース No. 33

株式会社東北バイオフードリサイクル

基本DATA

所在地
宮城県仙台市宮城野区蒲生3-10-1
<https://www.tohoku-bio.co.jp/>

主要事業の概要

JFEグループ、JR東日本グループ、東京ガスの出資による食品リサイクル&バイオガス発電事業

調達を希望する肥料原料

食品廃棄物

出展担当

担当者 高橋 正裕
TEL 022-355-9151
E-mail masahiro-takahashi@tohoku-bio.co.jp

株式会社 東北バイオフードリサイクル



強み・特長・販売等の実績

食品廃棄物（日量40t）を微生物でバイオガス化して発電している。メタン発酵処理後の発酵残渣の利用については、2022年9月12日に肥料登録の認定を受けている。（肥料名「伊達のみり」【伊達のしずく】）
食品廃棄由来の肥料となるため安全性は高い。2022年度は近隣の農業法人を中心に154tの出荷を行った。

農業機械等メーカー

ブース No. 35

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

基本DATA

所在地
東京都中央区日本橋本石町1-2-2
<https://www.mcas.co.jp/>

主要事業の概要

各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー

出展担当

担当者 長尾 衛
TEL 03-6848-4219
E-mail mamoru.nagao.ma@mcgc.com



築上町液肥濃縮施設



通常液肥 濃縮バイオ液肥

強み・特長・販売等の実績

し尿・浄化槽汚泥等を原料とする液肥（消化液）の肥料成分（窒素、カリウム）をUF膜分離と電気透析で濃縮を行い、資源循環型農業の普及を目指した濃縮バイオ液肥の製造に取り組んでいます。当設備には当社グループ製中空糸膜を用いています。この液肥濃縮技術は、農林水産省「みどりの食料システム戦略」において2050年までの目標とされている、化学肥料の使用量の30%低減に貢献できる最適な技術です。

株式会社デリカ

基本DATA

所在地

長野県松本市大字和田5511番11

<https://www.delica-kk.co.jp/>

主要事業の概要

有機農業と未来へをモットーに堆肥散布機の専門メーカーとして、機械製造及び販売しています。

出展担当

担当者 藤原 剛
TEL 0263-48-1184
E-mail fujiwara@delica-kk.co.jp



強み・特長・販売等の実績

堆肥の種類により、各種散布機の品揃えがあります。また、混合堆肥複合肥料専用散布機もあり、販売実績があります。トラクターけん引の他にクローラ式自走マニアもあります。

株式会社天神製作所

基本DATA

所在地

宮崎県都城市都北町7210-2

<https://tenjin-tm.co.jp/>

主要事業の概要

有機性廃棄物資源の堆肥化発酵攪拌機のメーカー、袋詰め装置、ペレットマシンのメーカー

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛), 家畜ふん堆肥(豚), 家畜ふん堆肥(採卵鶏), 食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 天神 隆
TEL 0986-47-1825
E-mail info@tenjin-tm.co.jp



強み・特長・販売等の実績

北海道から沖縄まで全国500カ所の発酵堆肥化施設のお客様に良質堆肥の製造可能な機械を納品しています。

前澤工業株式会社

基本DATA

所在地

埼玉県川口市仲町5-11

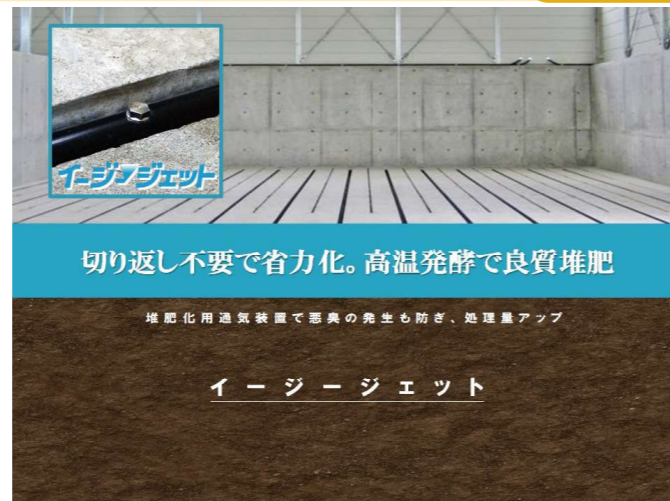
<https://www.maezawa.co.jp/ja/index.html>

主要事業の概要

上下水道プラント・装置、およびメンテナンス 堆肥化設備販売・据付

出展担当

担当者 中町 和雄
TEL 048-251-5511
E-mail kazuo_nakamachi@maezawa.co.jp



強み・特長・販売等の実績

切り返し不要な高圧通気型堆肥方式
1 技術の概要 プロワの50倍の高圧空気を堆肥に送ることで、酸素が均一に内部まで浸透するエアレーション装置です。
2 技術の特徴 イージージェットの特徴は以下の通りです。
1) 冬季でも高温発酵 2) 臭気の改善 3) 切り返し不要
4) 発酵期間短縮 5) メンテが容易
3 実績~全国66箇所、下水汚泥・生ごみ・食品残渣・畜糞等

株式会社チュウチク

基本DATA

所在地

愛知県豊橋市東小浜町8番地

<https://www.chuchiku.co.jp/>

主要事業の概要

養牛向け機械全般(飼料混合機から糞尿処理機等)の製造・販売
飼料および飼料添加物の製造・販売

出展担当

担当者 海老澤 真
TEL 0532-46-1211
E-mail ebisawa@chuchiku.co.jp



強み・特長・販売等の実績

養牛向けの糞尿処理およびペレット製造システムの設計、施工をいたします。発生する糞尿の量や品質から、どのような機械を組み合わせれば、どのような堆肥・肥料になるのかをお客様と話し合いながら設計していきます。いろいろなメーカーの機械の取り扱いが可能ですので、組み合わせを広く選ぶことができることが、弊社の強みです。

株式会社垣内

基本DATA

所在地

高知県南国市岡豊町中島391-8

主要事業の概要

畜糞、汚泥堆肥向け造粒機「粒造くんシリーズ」を製造。設計、製造から据付まで対応する産業機械メーカー。

出展担当

担当者 大久保 栄治
TEL 088-866-2848
E-mail e_okubo@kk-kakiuchi.co.jp



強み・特長・販売等の実績

「粒造くんシリーズ」は連続自動運転、省力化、低温造粒等の特徴とする造粒機で畜産業界を中心に300台以上の納入実績がある。弊社はペレット生産に初めて取り組む方に向け、造粒テストによるペレットの試作や、見学会等により安心してペレット生産に取り組んでいただける体制を整えている。有用な国内資源として堆肥が見直される中、堆肥ペレット化のニーズは拡大しており、造粒機メーカーとして肥料資源の利用拡大に貢献する。

三友機器株式会社

基本DATA

所在地

福岡県福岡市中央区大手門1丁目1-3

<https://www.sanyu-kiki.co.jp/>

主要事業の概要

急速発酵堆肥化装置「コンポ富士」を全国各地に納入しています。堆肥化処理についてご相談ください。

出展担当

担当者 西岡 悠二
TEL 092-711-8858
E-mail nishioka@sanyu-kiki.co.jp



強み・特長・販売等の実績

急速発酵堆肥化処理装置「コンポ富士」は全国の畜産業、産廃業の方々に利用していただいております。わずかなスペースで良質堆肥を生産出来、密閉型で臭気対策し易い構造です。

アイケイ商事株式会社

基本DATA

所在地

千葉県香取市虫幡942番地

<https://www.ikyoji.co.jp>

主要事業の概要

建設・牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎の建設
機械・畜産ふん尿の固液分離機の製作
堆肥攪拌機の販売

出展担当

担当者 横田 昌男
TEL 080-8710-9995
E-mail yokota@ikyoji.co.jp



強み・特長・販売等の実績

30年以上にわたり畜産関係との強いパイプを持っている。畜舎建設からふん尿処理プラント迄の設計施工実績あり。堆肥攪拌機販売は全国に及ぶ。

三洋貿易株式会社

基本DATA

所在地

東京都千代田区神田錦町2-11

<https://www.sanyo-trading.co.jp/>

主要事業の概要

ペレットマシンの販売・メンテナンス、ペレット造粒設備の設計・据え付けを行っております。

出展担当

担当者 黒丸 潔虎
TEL 070-3852-3438 (携帯)
E-mail k-kuromaru@sanyo-trading.co.jp



強み・特長・販売等の実績

これまで鶏糞を中心に全国11カ所で堆肥ペレット造粒設備（原料受入～ペレット化～冷却～フレコン詰め）の導入、機器単体では50台以上のペレットマシンを導入させて頂いてまいりました。お客様の既存設備に応じたオーダーメイド設計、ペレット製造能力/品質、稼働開始後のサポート体制につきまして大変ご好評を頂いております。些細なことでもぜひご相談ください！



その他

ブース No. 44

シン・エナジー株式会社

基本DATA

所在地

兵庫県神戸市中央区御幸通 8-1-6
神戸国際会館 14 階

<https://www.symenergy.co.jp/>

主要事業の概要

バイオマス資源（木質、もみ殻、食品残渣等）を原料に、エネルギーと肥料/土壌改良材の製造を行う

出展担当

担当者 吉田 康輝
TEL 078-600-2660
E-mail yoshida_k@symenergy.co.jp

エネルギーを基軸に共に生きる社会を創る



強み・特長・販売等の実績

地域のバイオマス資源を活用して、再エネ（電気・熱）・肥料（濃縮消化液）・土壌改良材（バイオ炭）を生産する事業を行う。FS調査・関係者合意形成・資金調達・プラントEPCなど一気通貫で対応可能。土壌改良材：木質ガス化プラント由来のバイオ炭をサツマイモ圃場にて試験栽培実施。対照区と比較して収量+13%の結果。濃縮消化液：メタン発酵消化液の濃縮技術の特許申請中。濃縮消化液は水田に施肥試験を実施中。

中部エコテック株式会社

基本DATA

所在地

宮崎県都城市上川東2-10-2-4

<https://chueco.co.jp/>

主要事業の概要

有機汚泥・畜糞・食品残渣から有機質肥料を生産するコンポストと呼ばれる機械のメーカー

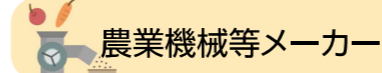
出展担当

担当者 池田 彬光
TEL 0986-23-2350
E-mail a-ikeda@chueco.co.jp



強み・特長・販売等の実績

海外部署と国内部署が連携して、弊社コンポストを使用する国内事業者様の堆肥を海外へ輸出しております。また、e-compostと呼ばれる堆肥のマッチングサイトを開設しており、堆肥生産者の方と消費者を域内で流通させる取り組みをしています。



農業機械等メーカー

ブース No. 46

緑産株式会社

基本DATA

所在地

神奈川県相模原市中央区田名3334番地5

<https://www.ryokusan.co.jp/>

主要事業の概要

酪農・畜産業、リサイクル業（廃棄物処理業）、林業・木質バイオマス関連事業者向けの大型農業・環境機械の販売とアフターサービス。

出展担当

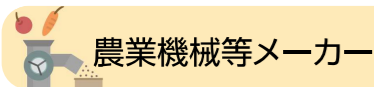
担当者 木村 俊也（九州営業所 所長）
TEL 096-381-7537
E-mail kumamoto@ryokusan.co.jp



大型自走式コンポストターナー
トップターナーX4500 / X5000 / X6000

強み・特長・販売等の実績

1969年創業以来、「生物資源の循環利用による環境社会の構築」を理念に、革新的かつ世界トップ水準の機械製品を提供しております。畜産分野では、家畜ふん尿から高品質な有機肥料（堆肥や液肥スラリー等）を高効率に製造する、自走式コンポストターナー、パイオチョッパーミキサー、スラリーポンプ、ミキサー、セパレーター、施肥用タンカー等の実績豊富な製品群を取り揃えています。



農業機械等メーカー

ブース No. 45

中部エコテック株式会社

基本DATA

所在地

宮崎県都城市上川東2-10-2-4

<https://chueco.co.jp/>

主要事業の概要

有機汚泥・畜糞・食品残渣から有機質肥料を生産するコンポストと呼ばれる機械のメーカー

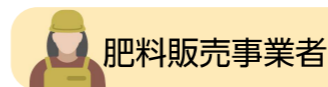
出展担当

担当者 池田 彬光
TEL 0986-23-2350
E-mail a-ikeda@chueco.co.jp



強み・特長・販売等の実績

海外部署と国内部署が連携して、弊社コンポストを使用する国内事業者様の堆肥を海外へ輸出しております。また、e-compostと呼ばれる堆肥のマッチングサイトを開設しており、堆肥生産者の方と消費者を域内で流通させる取り組みをしています。



肥料販売事業者

ブース No. 47

NPO法人九州バイオマスフォーラム

基本DATA

所在地

熊本県阿蘇市一の宮町宮地5816

<https://kbiomass.org>

主要事業の概要

・木質バイオマスボイラーや、木質バイオマス発電所から発生する木灰を、特殊肥料として販売しております。
・バイオマス利活用の調査・コンサルティングを行っています。

出展担当

担当者 中坊 真
TEL 0967-22-1013
E-mail info@kbiomass.org



Kyushu Biomass Forum
NPO法人九州バイオマスフォーラム

強み・特長・販売等の実績

弊団体は地域の未利用資源となっているバイオマスの循環利用に取り組んでいます。阿蘇の草原の野草や、木質バイオマスボイラー・発電所から発生する木灰などを、特殊肥料やたい肥の材料として供給しています。木灰はカリ肥料や、酸性土壌の中和に用いるアルカリ材として活用が可能です。有機JAS認証のために、資材証明書を発行することも可能です。

富士見工業株式会社

基本DATA

所在地

静岡県静岡市駿河区富士見台1-21-22

<https://fujimi-group.co.jp/>

主要事業の概要

全国各地の畜産業者様に広域流通に応じた堆肥の品質・管理の助言を行い、堆肥を全国各地に販売しています。

出展担当

担当者 小柳津 倫生
TEL 054-282-5440
E-mail m.oyaizu@fujimi-group.co.jp



強み・特長・販売等の実績

堆肥における独自の全国広域流通の仕組みを構築し、更には広域流通や肥料混合を可能とする堆肥の製造指導、品質管理手法を蓄積してきました。

日本全国の畜産業者様を始めとする100社以上の堆肥製造業者様から多種多様な堆肥製品を仕入れ、全国の耕種農家様に販売しています。

渡辺パイプ株式会社

基本DATA

所在地

東京都中央区築地5-6-10
浜離宮パークサイドプレイス6階

<https://www.sedia-green.co.jp>

主要事業の概要

- ・施設園芸農業施設的设计・施工
- ・農業資材全般の販売
- ・生産資材(フィルム・肥料など)の製造販売

出展担当

担当者 高群 一正
TEL 03-5819-0134
E-mail i_takamura@sedia-system.co.jp

循環型有機肥料 ファインアプローチ

POINT1 土壌改良効果 POINT2 サッチ分解効果 POINT3 リーズナブル POINT4 循環型有機肥料

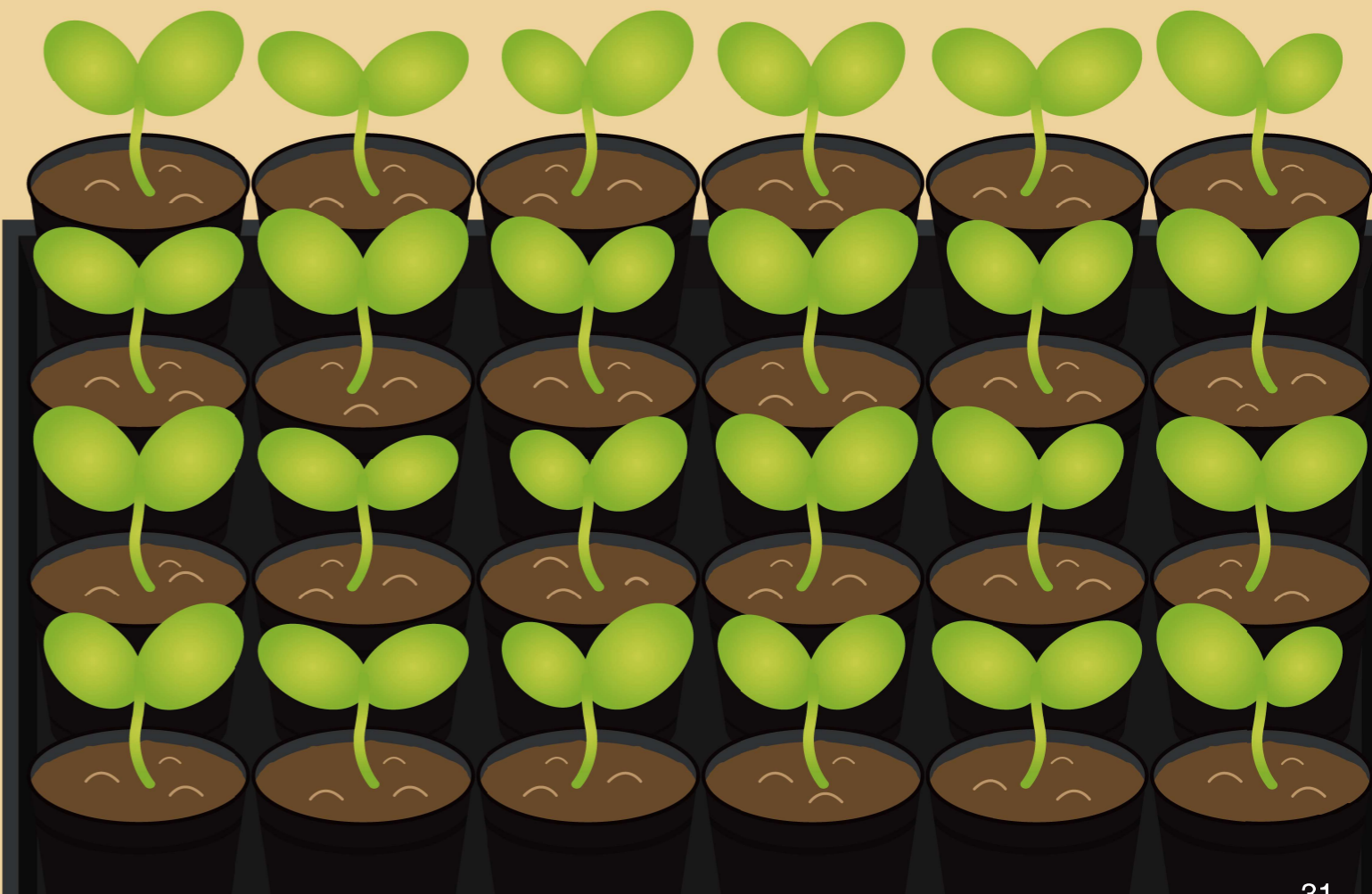
SDGs目標達成に貢献する再生肥料

渡辺パイプ株式会社
TEL 03-5819-0134 FAX 03-3624-3017

強み・特長・販売等の実績

- ① 地方自治体連携で汚泥肥料を製造商品化、肥料としてまた融雪材として販売しております。
昨年販売実績100トン
- ② 汚泥由来の安価でサステナブルな肥料を商品化し販売しております。パチルス菌配合によりサッチ分解効果があり、主にゴルフ場でご好評をいただいております。
昨年販売実績150トン

相談窓口



☀️ 下水汚泥関係 **ブース No. 01**

(公社) 日本下水道協会

受付相談内容等

- ・下水汚泥由来肥料の利用状況
- ・下水道資源を活用して栽培した作物
- ・下水汚泥肥料の重金属含有量の調査結果
- ・下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた検討
- ・下水汚泥の肥料利用促進計画の実施に向け、検討内容を具体化するための項目
- ・下水汚泥の肥料利用についての先進事例

☀️ 畜産関係 **ブース No. 02**

(一財) 畜産環境整備機構

受付相談内容等

家畜排せつ物の堆肥化について、以下のご相談を受け付けます。

- ・堆肥化の好気性発酵条件に関する相談
- ・堆肥化施設の設計に関する相談
- ・堆肥の成分・品質に関する相談
- ・堆肥の利用に関する相談
- ・堆肥のペレット化についての相談
- ・混合堆肥複合肥料などの施肥設計に関する相談
- ・堆肥化に伴う悪臭防止対策についての相談

☀️ 肥料販売事業者関係 **ブース No. 03**

(一社) 全国肥料商連合会

受付相談内容等

国内資源由来肥料の利用拡大にかかる製品開発、流通促進、普及に対する事業推進のための相談を受け付けます。東京農業大学 後藤逸男名誉教授も待機し、ご相談に応じます。

☀️ バイオマス関係 **ブース No. 04**

(一社) 日本有機資源協会

受付相談内容等

バイオ液肥、再生敷料、堆肥にかかる以下の相談を受け付けます。

- ・バイオ液肥の製造（メタン発酵）
- ・バイオ液肥の成分・特性
- ・バイオ液肥の施用方法（時期、場所、運搬・散布車両、散布装置等）
- ・バイオ液肥を固液分離した固分の堆肥または再生敷料としての利用
- ・地域でバイオ液肥を活用するための計画づくり

☀️ 肥料法、肥料登録関係 **ブース No. 05**

農林水産省消費・安全局農産安全管理課

受付相談内容等

国内資源の肥料化に向けて、肥料の品質の確保等に関する法律に基づく公定規格への適合性や、登録手続き等に関する相談を受け付けます。また、今般、新たに創設される、汚泥資源を利用した肥料成分を保証可能な公定規格「菌体りん酸肥料」に関する質問や登録に向けた相談についても受け付けます。

☀️ その他 **ブース No. 17**

九州農政局

受付相談内容等

九州地域における国内肥料資源の拡大に向けた関係者の支援と施策関連情報の提供等

- ・売れる堆肥づくりのすすめ
- ・堆肥の利用による土づくりのすすめ
- ・農業集落排水施設の汚泥資源循環の取組

ご案内

国内肥料資源推進ロゴマークについて

農林水産省では、令和5年2月に「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会（以下「全国推進協議会」という。）」を設置し、この全国推進協議会の取組の一環として、令和5年6月に「国内肥料資源の利用拡大プロジェクト」を立ち上げるなど、国内の肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の横展開・関連情報の発信等、全国各地における国内資源由来肥料の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

この度、国内肥料資源の利用拡大に関する取組を更に推進するため、各会員のHP等への掲載など広報活動への利用や、国内資源由来肥料に添付可能な「国内肥料資源推進ロゴマーク」を作成いたしました。是非、様々な用途でご利用ください。

国内肥料資源推進ロゴマーク



利用例



ロゴマークの利用方法について

本ロゴマークの利用を希望する会員の方は、下記URL先に掲載の「国内肥料資源推進ロゴマーク利用規程」等をご覧いただき、利用申請書等必要書類を下記提出先までお送りください。会員登録をされていない方は、次ページ掲載の「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について」をご確認の上、会員登録をお願いいたします。

(国内肥料資源の利用拡大プロジェクト 3. 国内肥料資源推進ロゴマークの作成)

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zenkokuyougikai/project.html

(担当者・お問合せ先・提出先)

農林水産省農産局技術普及課 国内肥料資源推進ロゴマーク担当

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL: 03-6744-2182、E-mail: kokunai_shigen@maff.go.jp

ご案内 国内肥料資源の利用拡大に向けた 全国推進協議会について

趣旨

農業生産に必要な不可欠な肥料については、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受け易い状況となっている。

こうした中、農業生産を持続可能なものにするためには、堆肥や下水など肥料成分を含有する国内資源の肥料利用を拡大し、輸入原料に過度に依存した肥料利用からの転換を進めていく必要がある。

このため、国内資源の肥料利用の拡大に向け、関係団体・関係事業者の取組方針等を共有するほか、関係事業者間のマッチング等を進めることなどにより、原料供給から肥料製造、肥料利用まで連携した取組を各地で創出していくことを支援する。

役割・主な活動内容

- I 広域的な連携の取組のサポート** 事業者間のマッチング機会（国内資源利用体制の構築）の場を提供し、新たな連携づくりをサポートします。
- II 生産現場での利用拡大に向けた取組を推進** 先行事例等を基に、国内資源由来肥料の導入メリットや、生産現場での導入に当たって留意すべき事項等を取りまとめ、生産現場における国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組を推進します。
- III 先進事例の横展開・関連情報の提供** 農水省HPにおいて、関連施策情報のほか、会員からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

出展：農林水産省 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zennkokusuishin.html)

会員登録について（随時受付中）

農林水産省では、国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の設立趣旨に賛同する会員を募集しています。下記の各号に該当する者であって、会員となることを希望される場合は、下記URLより会員登録を行ってください。

- (ア) 全国推進協議会の設立趣旨に賛同し、全国推進協議会の活動に協力すること。
- (イ) 会員相互で提供情報を共有することに同意していること。
- (ウ) 反社会的勢力に該当しないこと及び反社会的勢力と関わりを持たないこと。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/sizai/member_registration.html

ご案内

相談窓口

マッチングフォーラム開催事務局に肥料に関する相談窓口（ヘルプデスク）を設置しております。

相談窓口は「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会」の会員様にご利用いただけます。会員登録されていない方は、左記の案内から会員登録をお願いいたします。

相談対応内容（一例）

- ・技術的な課題に対する助言や支援
- ・共同研究先を探している方
- ・事業化や販路拡大等の支援

支援の流れ

- 1 下記相談窓口にメールまたはお電話にてお問い合わせください。
- 2 オペレーターが相談内容をお伺いいたします。
- 3 ご相談内容に基づいて、後日、専門家や有識者による助言等を行います。

相談窓口（ヘルプデスク）連絡先

電話：03-6262-1493（平日10:00～17:00）

メール：kokunai-hiryo@libertas.co.jp

国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 九州

発行者 株式会社リベルタス・コンサルティング

発行所 〒102-0085
東京都千代田区六番町2番地14 東越六番町ビル

電話番号 03-3511-2161

URL <https://www.libertas.co.jp/>